

「夏休み 親子ふれあい木工教室」のご案内

毎年、好評を頂いております【親子ふれあい木工教室】を今年も開催致します！木工好きのお子様だけでなく、大人の方も、今年も親子で楽しい時間を作ってください。

どなたでも参加できます。ご家族、お友達、お知り合い皆さんお誘い合わせご参加下さい。

日時：平成24年8月18日(土) AM9:00~12:00

場所：(株)ナガイ倉庫

参加対象：小学生以下は保護者同伴(保護者1名で児童2名でも可)

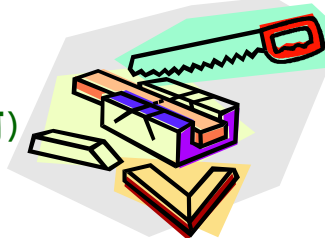
先着30名とさせていただきます。

参加費用：子供1名 500円(材料費として)

持ち物：道具はこちらでも用意しますが、できるだけご家庭にあるものを記名の上、ご持参ください。(のこぎり・かなづち・釘抜き・ペンチ・紙やすり・ものさし・定規・鉛筆

など) タオル・水筒

参加ご希望の方は、お電話ください！メールでもOK！です。



木くぼり

自然にかえる子育て 医者から学ぶ「医者いらず」

今月号より、東京都 真弓小児科医院 医師である真弓定夫先生の著書『自然にかえる子育て』より、いくつかご紹介していきます。子育て中ではなくてもとても参考になるお話が満載です。

日本とヨーロッパの衣服・住居の違い

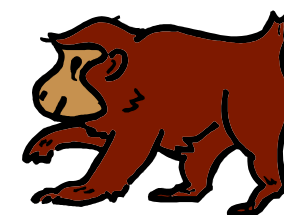
洋風な外観やインテリアに憧れて、輸入住宅で家を建築する方もいますが……

ヨーロッパなどに住んでいる人たちの衣類や住居と、日本人の衣類や住居とは、はっきりと違うのだということを知っておかなければいけません。

基本的に日本はアジアモンスーン地帯ですから、暑さや湿気を防ぐために空気が通るといことが絶対条件になります。空気が通るような衣類、住居ということです。ヨーロッパなどでそんなことを言っていたのでは寒くて仕方ありません。密閉、つまり空気の流れを防ぐことが、寒帯においては主体になります。

日本に住んでいる私たちは、サルのような住居、サルのような衣類が合います。サルは下北半島の雪の中でも裸で暮らしています。基本的に、裸で外で暮らしていれば病気にならないのです。しかしそんなことを言っても、私たちの先祖はすでに火を使い、住居に入るようになり体毛が抜けてしまいましたから、サルと同じ生活はできません。まず、衣類に関しては、限りなくサルに近い薄着の習慣を身につけることです。それも、空気が通るような木綿や麻、あるいは少しお金はかかりますが絹が素材でなくてはいいのです。

ヨーロッパでは寒さを防ぐため、空気を通さない毛皮を使用しましたが、日本では毛皮はいらないものなのです。



藤枝市 F邸 完成しました！



本棚のあるリビング



ダイニング～キッチン



リビング～廊下

(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

芽ばえ社 「自然にかえる子育て」より